

骨粗しょう症と歯科治療

健康なお口いつまでも

吹田市歯科健診パンフレット



吹田市歯科医師会のホームページ『吹歯公園』

吹歯公園

<http://www.ha-suita.com/>



吹田市歯科医師会のホームページ『吹歯公園』では、各種健診や活動の紹介、歯科情報 Q&A、医院紹介など、お口の健康に関する情報が盛りだくさん掲載されています。ぜひ、アクセスしてみてください。



図：ソコスト

吹田市歯科医師会は医歯薬連携に取り組んでいます！

骨粗しょう症検診を定期的に受けましょう！

対象：20歳から70歳の方で、今年度の誕生日で年齢の1桁目の数字が0か5の方（20歳、25歳、30歳・・・）が、5年に1回の受診が可能

検査料：1,000円（ただし65歳と70歳は無料）

場所：吹田市内協力医療機関（吹田市医師会）

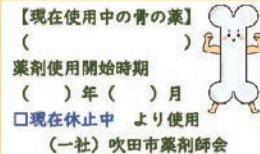
お問い合わせ
ご相談は……

吹田市 健康医療部 成人保健課
月～金（祝休日・年末年始除く）9:00～17:30
☎ 06-6339-1212 / FAX 06-6339-7075



吹田市ホームページ
骨粗しょう症検診

骨粗しょう症の治療薬を飲んでいる方は一度かかりつけの薬局にご相談ください。かかりつけ薬局では、お薬手帳に右のようなシールをお貼りしております。



協力医療機関

吹田市健康医療部成人保健課
〒564-0072 吹田市出口町19番2号
電話 (06) 6339-1212
FAX (06) 6339-7075

吹田市
(一社)吹田市歯科医師会

骨粗しょう症と歯科との関係

骨粗しょう症の多くは加齢による女性ホルモンの欠乏や骨の代謝が衰えることが原因で全身の骨が脆くなります。進行すると骨折しやすくなり、場合によっては要介護状態にも繋がるため適切な治療が必要です。治療には様々な治療薬が使用されますが、一定の薬剤に関連した「顎（あご）の骨が壊死する（顎骨壊死）」について Q&A 形式でこのパンフレットでお知らせ致します。



図：いらすとや

Q. 骨粗しょう症の薬を使うと必ず顎骨壊死になりますか？

A. いいえ、大半の方は心配ありません！

顎骨の細胞が一定の薬剤により障害を受けて骨が腐った状態が顎骨壊死で、主にがん治療などで使用される高濃度の薬剤により顎骨壊死が発生します。骨粗しょう症の治療で使用される一定の薬剤（ビスホスホネートやデノスマブ）でも顎骨壊死が発生する可能性があります。実際にこれらの薬剤を使用しても顎骨壊死を起こさない事がほとんどです。例えばビスホスホネート内服中における顎骨壊死の発生率は 1,000~10,000 人に 1 人と高くありませんが注意は必要です。

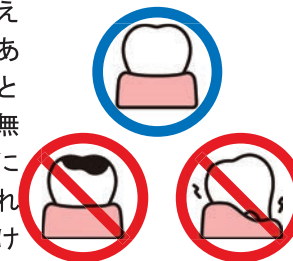
薬剤に関連した顎骨壊死を起こすリスクが高い薬剤の一例

一般名	投与方法	商品名	投与の目的
ビスホスホネート	内服	アクトネル、リカルボン、等	骨粗しょう症の治療
	注射（静脈）	ゾメタ	悪性腫瘍の治療
		ボナロン、ボンビバ、等	骨粗しょう症の治療
デノスマブ	注射（皮下）	プラリア	骨粗しょう症の治療
		ランマーク	悪性腫瘍の治療

Q. 薬剤関連の顎骨壊死は防ぐことができますか？

A. はい、むし歯や歯周病の早期治療や予防が有効です！

未治療の「むし歯」や「歯周病」がある人は、むし歯や歯周病の菌が顎の内部に到達して顎骨壊死を起こしやすい状況といえます。そのため、顎骨壊死を引き起こすリスクのある薬剤が処方される前に歯科治療を終わらせることで顎骨壊死の予防が可能です。しかし、歯周病は無症状の場合も多く、むし歯も状態によっては治療に一定の期間を要するため、骨粗しょう症と診断された時点で早めの歯科治療や定期的な歯科健診を受けておくことが大切です。



図：ソコスト

Q. 薬剤関連の顎骨壊死になっても治りますか？

A. はい、早期であれば必要な歯科治療で治癒します！

早期なら「お口の中」を清潔にして必要な治療を行えば治癒しますが、進行すると歯ぐきに骨が露出し痛みや出血を伴います。さらに進行すると顔の腫れや唇のしびれなども伴って完治が難しくなりますので、顎骨壊死の予防と早期発見が大切です。



Q. 歯科治療前に骨粗しょう症のお薬はやめた方がいい？

A. いいえ、基本的に休薬は不要です！

骨粗しょう症の治療薬は、そもそも顎骨壊死のリスクがないものやリスクがあっても低いものがほとんどです。自己判断で必要なお薬を中止すると骨粗しょう症の急激な進行につながる可能性もありますので、かかりつけの医師・歯科医師に相談するようにしましょう。

